

第 1 回 下田市立学校統合準備委員会

日 時	平成 30 年 2 月 21 日(水) 13 : 30～14 : 55		場 所	道の駅開国下田みなと 4 階 会議室 3	
委 員	氏 名 (役職名)	出欠	氏 名 (役職名)	出欠	
	森本 幸平 (会長)	○	武井 敦史 (副会長)	○	
	鈴木 徹弥(代理:石田 金也)	代理	山梨 隆史	○	
	猪ノ原 克巳(代理:三室 隆)	代理	山田 浩	○	
	佐藤 知佐子	○	山本 雅彦(代理:和泉 正樹)	代理	
	土屋 隆宏	×	里見 尚人	○	
	江田 邦明	○	進士 高広	○	
	伊藤 拓也(代理:金指 智)	代理	本村 信大	○	
	和泉 哲夫	○	渡邊 洋之	○	
	土屋 弘男	○	長友 五郎	○	
	渡邊 角夫	○	土屋 雅夫	○	
	國分 敬治	○	中村 慶子	○	
	鈴木 めぐみ	○	松村 守人	○	
事務局出席者 職 氏 名	教育長 佐々木 文夫 学校教育課参事 山梨 弘樹 主事 原 隆史	学校教育課長 土屋 仁 学校教育係長 吉田 康敏			
発 言 者 名	発言内容及び事務局回答				
課 長	1. 開 会 13 : 30				
教 育 長	<p>2. 教育長挨拶</p> <p>皆様、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、第1回下田市立学校統合準備委員会にご出席いただきまして、心より厚く御礼申し上げます。</p> <p>統合準備委員会開催にあたり、自ら応募していただきました委員の方をはじめ、こちらから依頼しました皆様方にも快諾をいただき、おかげさまで第1回の委員会開催となりました。このことにつきまして、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>なお、本委員会のメンバーに静岡大学教授の武井先生にも参加していただくことになりました。先生は学校統合問題について専門的に研究されており、造詣も深く、これまでも多くのアドバイスを頂いております。先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の委員会でございますが、下田市立4中学校を1校化するにあたり、教育委員会から委員の皆様にご諮問をさせていただきます。詳細な内容につきまして</p>				

<p>課 長</p> <p>渡 邊 洋 委 員</p> <p>課 長</p>	<p>ては、後ほど朗読をさせていただきますが、皆様には統合までの間に具体的な構想づくりを審議していただき、教育委員会に対し答申をしていただくこととなります。</p> <p>また、委員の皆様に対し、これまでに至った経過につきまして、事務局より後ほど説明させていただきますが、本日、資料として「学校再編の経過を新聞・広報しもだで見る」を配付させていただいておりますが、その3ページをお開きいただきたいと思います。平成27年度からの学校再編の経緯をまとめさせていただいておりますが、総合教育会議、定例教育委員会、市長と語る会、保護者説明会またアンケート調査等の実施、再編検討会議、再編整備審議会、政策会議や議会等、多くの日数と時間を費やし、丁寧に意見集約や検討等を行って参りました。そして、平成29年9月に開催された下田市議会全員協議会におきまして、中学校再編に係る市の方針決定を報告させていただいたところでございます。</p> <p>委員の皆様には「子どもにとってより良い環境づくり」の視点で、お力をお貸しいただければ幸いです。私たち教育委員会も誠意をもって努力して参ります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>最後になりますが、本委員会は来年度以降も引き続き開催させていただきますが、PTA会長様及び各区長様の任期や校長先生方の異動等の関係もあり、メンバーについては代わっていくと思われませんが、今後ともご支援いただきたいと思っております。</p> <p>本日は、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>3. 委 嘱 状 交 付</p> <p>4. 委 員 自 己 紹 介</p> <p>5. 正 副 会 長 選 出</p> <p>委員会規則第5条の規定により、正副会長は委員の互選によりこれを定めるとされています。会長について、どなたにお願いすればよろしいでしょうか。</p> <p>この度の学校統合準備委員会でございますが、その会議の性質からしまして、学校教育に精通している4号委員の学識経験者、会長には森本幸平委員、副会長には数多くの学校統合について熟知されている武井敦史委員にお願いできればと私自身考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>ただ今、渡邊洋之委員より、森本幸平委員を会長、武井敦史委員を副会長にというご発言を頂きましたが、いかがでしょうか。</p> <p>「異議なし。」と発言する者多数及び拍手あり。</p>
--	--

課長	<p>ありがとうございます。それでは、本統合準備委員会の会長につきましては、森本幸平委員、副会長につきましては、武井敦史委員に就いていただくことに決定いたしました。それでは、会長、副会長には、それぞれ会長席、副会長席にお移りいただきたいと思ひます。</p> <p>ここで正副会長よりそれぞれご挨拶をお願いします。</p> <p>【 正副会長挨拶 】</p>
課長	<p>6. 諮問</p> <p>これより先の議事進行については会長にお任せしたいと思ひますが、議事に先立ちまして、下田市教育委員会より、ただ今決定いたしました会長に対し、諮問をさせていただきます。</p> <p>【 佐々木教育長より下教学第 20 号により諮問 】</p>
会長	<p>7. 議事</p> <p>(1) これまでの中学校再編に関する経過説明</p> <p>それでは、これより議事進行をさせていただきます。円滑な議事進行にご協力のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の議事の(1)として、「これまでの中学校再編に関する経過説明」となっております。</p> <p>本件につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局担当	<p>【 配付資料の確認とともにパワーポイント作成資料により、経過説明 】</p>
会長	<p>ただ今、事務局から丁寧な説明をしていただきましたが、初めての方は今聞いていただいただけでは、なかなかすぐに理解をしていただくことは難しいかと思ひます。もう少し説明を求めたり、質疑などがあればお願ひしたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p>
和泉委員	<p>ただ今、教育委員会から統合準備委員会に対し4項目の諮問がありました。その4つ目「その他、学校統合に関し必要な事項」についてですが、もう少し具体的な説明を、そしてどの程度の範囲を指しているのかお伺ひしたいのですがよろしいでしょうか。</p>
課長	<p>今回の再編により新たな中学校ができるということで、学校に関すること全て</p>

	<p>が新しくなります。中には前例踏襲の部分もあるかと思いますが、ただ今説明をさせていただきますました組織図の中の各部会に様々な審議事項を挙げさせていただきますましたが、その全てが新しくなるということでございます。また審議している中で、ここに記載していないものも出てくるかと思えます。そういった形で審議をしていく中、当然、本委員会の皆様からも多くのご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。したがって、その具体的な内容につきましては学校統合に関する全てのことということでございます。</p>
会 長	<p>実際に進めていくと新しいことが色々出てきて、それらに対しても対応していかなければならない中で、このような書き方になっているものだと私は理解しております。</p>
副 会 長	<p>経過説明資料の 24 ページ今後の生徒数推移ですが、これは今現在の生まれている子どもの数で出しているのか、若しくは国立人口問題研究所で推計している数なのかお伺いしたいのです。これからの推移を考慮する上で、例えば移住などにより人口が増える可能性もあると思えますが、その考え方によって変化する部分もあると思えますので確認をさせていただきたいです。</p>
課 長	<p>こちらの数値の根拠でございますが、平成 29 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳上の数値でございます。したがって、人口問題研究所などで出している推計値ではありません。</p>
金指代理委員	<p>ここまで綿密に進めていただいている 4 中学校を一校化する方針を覆すような質問で心苦しいのですが、小中一貫校について、私自身も望んでいることで他の保護者などからも意見としてよく聞いています。その内容について資料を見ますと「学校再編の経緯を新聞・広報しもだで見ると」のNo.34 広報しもだの掲載内容の部分、審議会の中で主な意見の①再編手法及び校舎位置の 2 つ目に記載がありますが、私自身この記載内容について理解できない部分があります。これまでに小中一貫校についての検討がどのような形でされたのかをお伺いしたいです。</p>
課 長	<p>昨年の学校等再編整備審議会の中で、小中一貫校についての協議をしていただいております。その協議では、やはり当市における状況、少子化の問題、また小学校から中学校までの 9 年間、人間関係が変わらないことなどを踏まえたと小中一貫校という形ではなく、再編して一校化すべきではないかということで答申をいただいているところでございます。</p>
事務局担当	<p>第 2 回の学校等再編整備審議会の中で小中一貫校についてご協議いただきました。その協議では、中学校世代の子どもたちの集団での教育活動などを行うにあ</p>

	<p>たり、国の適正規模校が12学級以上というものが示されている中で、小中一貫校のような同じ世代が少ない集団の中で学ばせていくより、同じ世代の子どもたちを集めて学ばせていくということが、下田市の中学校のあり方として良いのではないかという方向性となり、今回、中学校一校化ということで進めさせていただいております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今、事務局から説明させていただいた通りなのですが、小中一貫校は、連携や併設など色々な形があります。その中で学校の適正規模を考慮した場合、特に中学校世代での規模を考えた場合、どのような状況が良いのかということで、色々と検討をさせていただきました。例えば、伊豆市の土肥、沼津市の戸田などの他市の事例を見ますと、仮に一校化となった場合、峠を越して通学するなど多くの時間がかかってしまうなどの状況があります。そういった部分を考慮しますと下田市においては、通学に関する部分については峠を越すようなことはなく、そうであるならば国が示す適正規模の中で部活動などの運動をしたり、新たな人間関係を構築したりすることがより良い環境を作ることになるのではないかとということで今回の中学校一校化を進めさせていただいております。</p>
<p>金指代理委員</p>	<p>私自身、今お話しを聞かせていただいたので一部理解させていただきましたが、同じような考え方をしている方が地域にも多くいると思われまます。市長と語る会で地域に説明しているというお話をさせていただきましたが、市長と語る会では他の議題がある中の一つに中学校再編の議題が扱われておりました。ぜひ中学校再編に絞った形での地区住民説明会を早急に行っていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。私みたいな形で状況を知らないまま話が進んでしまいますと置いて行かれているという感覚を持ってしまう人もいます。私自身、この場で聞くことができましたので良かったのですが、ぜひそういった場を設けていただくということをお約束いただきたいです。</p>
<p>課 長</p>	<p>今、ご指摘をいただきましたが、市長と語る会の他にも保護者向け説明会につきましても開催させていただきました。その説明の中で小中一貫校に絞った形でのお話はさせていただいておりませんが、市の今後の方向性の部分を中心に説明をさせていただいたところでございます。また保護者説明会の中でもこの統合準備委員会での決定事項につきましては、随時保護者説明会のような形でお知らせしていくというお話もさせていただいておりますので、早急にという部分のご指摘がございましたが、タイミング的に報告できる内容が前回説明会で行った内容と変わりませんので、今後の進捗があった段階で報告させていただきたいと思っております。また現在も同じ対応をさせていただいておりますが、市ホームページであったり、広報しもだなどを活用しながら報告させていただきたいと思っております。</p>

渡邊洋委員	<p>大変細かいところで恐縮なのですが、本日頂いた資料の表記として平成34年等の記載がしてありますが、実際には元号が変わりますので、西暦と併記するような形で今後の資料を作成していただきますようお願いします。</p>
課長	<p>申し訳ございません。今後の資料作成につきましては、西暦と併記するような形で対応をさせていただきますのでよろしくお願いします。</p>
江田委員	<p>経過説明資料の16ページですが、中学校の跡地利用について、どういった状況で検討がなされているのかお伺いしたいです。もう一点、今後の市内7小学校について、小中一貫校がなくなったという中でどういった形で進めていくのか、以上2点についてお伺いしたいのですがよろしいでしょうか。</p>
課長	<p>中学校を再編しますと既存の稲梓中、稲生沢中、下田東中の跡地をどうするかという形になります。その部分につきましては、現在、下田市公有財産有効活用検討委員会という全庁的な組織、中学校跡地に限らずその他の市保有の公有財産の部分について、例えば公民館統廃合などですが、そういった部分も含んで検討を進めているところでございます。やはり具体的な内容というものは現在のところまだ出てきていないという状況ですが、今後例えば民間の方に活用していただくとか、当然色々なご意見につきましても外部の方から集約をするような形で、有効な活用を検討していきたいというところでございます。また、市の方でも既存公共施設の長寿命化であったり、個別施設管理計画を今後策定していくことになっておりますが、その中で現在市が保有している施設、非常に老朽化が進んでおりますがそれを維持していくのか、廃止するのかといった検討をしていかなければならない状況でもあります。いずれにしても学校跡地についての活用方法など、具体的な形がわかった段階で当然この統合準備委員会に対しましてもお知らせさせていただき、ご意見につきましても伺わせていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>続いて小学校の関係でございますが、平成27年3月に当時の学校等再編整備審議会からの答申の中で、現状の7小学校体制を維持する、また今後一校でも複式学級が生じた場合には校区を見直し再編を検討するという答申をいただいております。答申をいただいた当時、今後10年間は複式学級が生じないという想定をしていたのですが、実際には大賀茂小におきまして、既に複式学級になっている状況でございます。教育委員会としましてはこういった現状の中で、まずは大賀茂小学区の地域の方のご意見、保護者の皆様のご意見を伺い、今後どのようにしていくのかという協議させていただき、必要であれば学校等再編整備審議会を設置するなど、検討を進めていかなければならないと考えております。何分やはり年度末という時期でもありまして、年度が替わり次第早急に、小学校部分についての検討、まずは地域や保護者の皆様のご意見を伺わせていただきたいと思いますというこ</p>

	<p>ろでございます。また大賀茂小が現在なぜそういった状況になっているのかという部分でございますが、やはり地域的な問題、具体的には指定学校変更というような形で、下田小校区内に保護者の勤務先や祖父母の方がおりますと教育委員会として下田小に通学することを許可している状況が多くございます。そういった部分につきましても地域や保護者の皆様と協議をさせていただきながら進めて参りたいと考えております。</p>
渡 邊 角 委 員	<p>これから部会ごとの審議がされることになると思われますが、部会同士の横の連携、例えば、地域及び保護者からなどの意見集約については、地域・PTA部会に記載がありますが、それをどうやって展開していくのか、その進め方についてお伺いしたいのですがよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>先ほど事務局からその説明がありましたが、なかなかわかりにくかった部分があるかと思うので事務局から再度補足説明をしていただければよろしいでしょうか。</p>
課 長	<p>部会につきましては、地域・PTA部会、保健部会、教育課程部会、生徒指導部会、学習部会、庶務・財務部会の6つの部会を予定しているところでございます。その中で地域・PTA部会以外の5つの部会につきましては、各部会の長に校長先生、また事務局として学校教育課が入ることからその連携という部分については、特に大きな問題はないと考えております。しかしながら、地域・PTA部会につきましては先ほども説明させていただきましたが、既存のPTA運営協議会や育成会組織にこちらから意見を伺う中で意見集約という部分は対応していきたいと考えております。その意見等につきましては、統合準備委員会組織図の中央に校長先生で組織されます統合推進委員会を立ち上げ、各部会長は校長先生になっていただいておりますので、最終的には統合推進委員会の中で集約し、統合準備委員会に報告をさせていただくという想定をしております。いずれにしましてもPTA運営協議会や育成会組織については地区によって構成員等異なっておりますので、集約の手法等について各学校と協議させていただき、スムーズな形で検討できるような体制を整えたいと考えております。</p>
金 指 代 理 委 員	<p>先ほど小学校の関係の説明をしていただきましたが、今回その資料がないと思います。中学校と関係があると思いますので、ぜひ次回から資料提供をお願いしたいと思います。</p>
課 長	<p>小学校の関係につきましては、これから検討段階に入るところでございますが、例えばアンケートなど実施した場合はその結果につきましては、示させていただきますと思います。大賀茂小につきましては、来年度学級編成上ですと複式学級</p>

<p>会 長</p>	<p>につきましては、4つの学年が対象となり2クラスになるというところですが、県加配1名や県加配が付かない部分に市費単独講師を1名配置することによりまして、各学年1クラスの6つの学年別々で授業を受けていただく対応をさせていただきます。そういった対応をさせていただいた中で、先ほども説明させていただきましたが地域の意見を伺わせていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>(2) その他 第2回委員会については来年度開催、併せて委員報酬書類提出について連絡。</p> <p>8. 閉 会 14:55</p> <p>それでは、これを持ちまして、第1回下田市立学校等再編整備審議会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。</p>
------------	--